

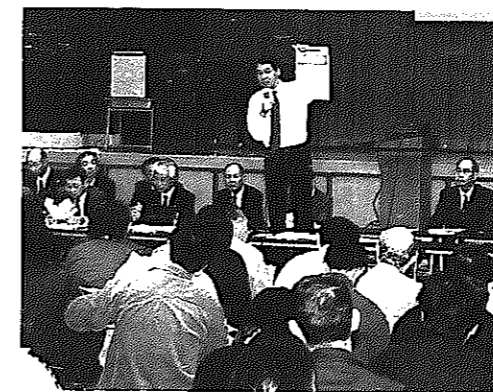
■第3回市町村合併市民説明会参加人数

日 時	会 場	参加人数
10月21日(火)	大通小学校	111人
22日(水)	庄瀬小学校	162人
23日(木)	根岸地域生活センター	75人
24日(金)	小林保育園	149人
25日(土)	白根地区公民館	199人
28日(火)	大鷲保育園	68人
29日(水)	茨曾根小学校	88人
30日(木)	大郷地域生活センター	48人
31日(金)	臼井小学校	79人
11月1日(土)	新飯田小学校	90人
合 計		1,069人

# 新潟地域合併問題協議会(任協)の協議結果を説明

## 第3回市町村合併市民説明会の質問概要

先に行われた3回目の市町村合併市民説明会に参加された皆さまから、さまざまなご意見・ご質問をいただきました。その内容を要約してお知らせします。



- Q** 建設計画登載事業のうち「新たな交通システム調査事業」の中で軌道系とあるが、鉄道を考えているのか。
- A** どの手法が新市一体の中で効果的か、また採算面など、専門家を交えて検討しているという段階です。従って軌道系も含め、今後、検討していくこととなります。
- Q** 現在、高校学区問題はどうか。たの。合併期限の17年3月までの関係を聞かせてほしい。
- A** これまでは、1市のみの要望でしたが、現在は13市町村の声として、県に働きかけています。県も今後検討していくような新聞報道もあります。時期として合併前は難しいと考えています。今少し時間をいただきたいと思っています。
- Q** 建設計画に盛り込まれた各種事業計画は、合併しなければ白根市単独ではできない事業と考えています。
- Q** 新潟市と白根市では、ゴミの分別など違うと思うが、合併したらどうなるのか。
- A** 新潟市と白根市では、ゴミの分別や収集体制は制度が異なっています。合併後、当分の間は今のまま実施していくことになっていますが、早い時期に制度の統一を目指して、協議する予定です。
- Q** 合併後の市道除雪について聞かせてほしい。
- A** 合併時に計画されている除雪道路は、現行の水準を維持することになっています。
- Q** 新市において、4つの農業委員会が設置されるということだが、4つの各農業委員会すべてに、推薦による農業委員を置くのか。
- A** 農業委員会には、法律に基づいて選挙で選出された選挙委員のほか、議会推薦やその地域にある農協、共済組合から推薦された専任委員を置くこととなります。
- Q** 白根市では、臼井中学校の存続についてどのように考えているのか。
- A** 合併して国際交流や道路網の整備が進んでくると、治安の問題がでてくると思う。それらの対応はどうなっているのか。
- Q** 合併して国際交流や道路網の整備が進んでくると、治安の問題がでてくると思う。それらの対応はどうなっているのか。
- A** この問題は、今回の協議では触れていない問題です。今後、皆さまのご理解が得られれば法定協議に入った時には、今いただいた意見を協議の中で発言していきたいと思えます。
- Q** 合併しなかったら白根市はどうなるのか。
- A** 合併しなかった場合は、市民の皆さまから、我慢してもらおうことも必要になります。
- Q** 合併すると白根支所になるという。ことだが、支所長は誰がなるのか。
- A** 現在の法律では、市の職員が支所長になります。
- Q** 市長は「市町村合併するもの」と限定した話ばかりではないか。
- A** 市長は「市町村合併するもの」と限定した話ばかりではないか。去年の6月に、合併についての話し合いの場(任意協議会)に入って良かった、アンケート調査を行い、65%が賛成という結果でした。これは合併の是非ではなく「協議会に入って良かったか」ということでした。
- Q** それをもつて議会に諮り、昨年9月5日の協議会から9回の会議を重ね、その結果を今回説明しました。これを皆さまから判断していただくため、説明会終了後、アンケート調査を行います。あくまでも判断は皆さまからしていただくということになります。
- Q** この件については、まだ審議会から最終答申をいただいているので返答はできません。よって合併建設計画には、事業記載されていません。ただし白根市にはこのような課題があり、今後協議が必要なのは新潟市に伝えていきます。
- Q** 白根市としては、審議会からの答申内容を尊重していく考えです。もし合併建設計画に書き込みが必要であれば、今後協議していきたいと思えます。
- Q** 新市の区割りはどうなるのか。
- A** 区割りの基本的な考え方は、今までの歴史や地形などを、総合的に考えて行うことにしています。区の割り方は、これから検討が加えられていくこととなりますので、「区がこうなる」という話は、今はできません。
- Q** 合併した場合はデメリットについて聞かせてほしい。
- A** 「役所が遠くなる」とか、「中心だけが良くなるんじゃないか」、「身近な道路や下水を直してなくなるのでは」とよく言われます。こうならないように何回も協議してきました。
- Q** 例えは、税金にしても最終的には上がるものもあります。受け取り方によっては、デメリットかもしれない。しかしサービスが向上するなどの、総合的に考えればメリットになると思います。
- Q** 合併後、議員の数が4人になるという話だが。
- A** 合併すると、編入される市町村の全議員が失職となり、新潟市議会議員の増員選挙が行われ、全体数としては78人になります。人口1万人当たり1人の割合で、議員を選出することになりますので、白根市(合併後は白根支所)地域からは4人を選出します。
- Q** 政令指定都市となると、区制に移行し、その区が選挙区となります。合併後2年で政令指定都市、区政に移行し、次の19年の統一地方選挙を行うという考えです。
- Q** 新市の議員の法定数は56人ですが、新しい区(選挙区)ごとの議員定数は、区の人口から算出することになります。
- Q** ※市では、この説明会後に白根市が合併することについて、アンケート調査を実施しました。集計速報については、次号でお知らせします。

**市町村合併市民説明会**  
補助資料を差し上げます

資料では、地方税の取扱いや使用料・手数料の取扱い、新潟市と白根市の事務事業の比較、合併建設計画など分かりやすく掲載しています。希望者は各地域生活センター、または企画財政課までどうぞ。

■問い合わせ 企画財政課 広域行政係 ☎321、322